



リコー インタラクティブ ホワイトボード ネットワーク診断ツール 説明書

目次

1	はじめに	3
1.1	正しくお使いいただくために	3
2	説明書の読みかた	4
2.1	使われているマークの意味	4
2.2	おことわり	4
2.3	本書についてのご注意	4
3	概要	5
4	使用上の注意	5
5	動作環境	5
6	使い方	5
6.1	使用する前に	6
6.2	起動方法	7
6.3	サーバーコンピュータでの操作方法	8
6.4	クライアントコンピュータでの操作方法	11
6.5	結果の確認	13
A	よくある質問 (FAQ)	16
B	Windows ファイアウォールの設定方法	17
C	商標	19

1 はじめに

このたびは本製品（ソフトウェア）をご利用いただき、ありがとうございます。
株式会社 リコー
東京都中央区銀座 8-13-1 リコービル 〒104-8222
<http://www.ricoh.co.jp/>

1.1 正しくお使いいただくために

この使用説明書は、製品の正しい使い方や使用上の注意について記載してあります。ご使用前に、この使用説明書を最後までよくお読みの上、正しくお使いください。また、この使用説明書が必要になったとき、すぐに利用できるように保管してください。

2 説明書の読みかた

2.1 使われているマークの意味

本書で使われているマークには次のような意味があります。

[]

キーとボタンの名称を示します。

2.2 おことわり

本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

本製品（ソフトウェア）および説明書（本書）を運用した結果の影響については、いっさい責任を負いかねますのでご了承ください。

2.3 本書についてのご注意

本書の一部または全部を無断で複写、複製、改変、引用、転載することはできません。

3 概要

リコー インタラクティブ ホワイトボードでは、オプション製品リモートライセンス タイプ1をお使いいただくことで、ネットワークに接続したインタラクティブ ホワイトボード システム間で画面共有を行う、遠隔ホワイトボード共有機能をご利用できます。

ネットワーク診断ツールは、お客様のネットワーク環境を診断し、遠隔ホワイトボード共有機能を利用できるか否かを確認するためのツールです。

なお、本ツールをご利用するにあたり、ツールを使用するための PC が 2 台必要となります。

4 使用上の注意

- 診断結果は、診断時のネットワークの状態を反映したものととなります。診断した時間により、ネットワークの利用状況が異なることがありますので、ご注意ください。
- 本ツールは、ネットワーク環境を診断するものです。診断結果は、必ずしも、遠隔ホワイトボード共有機能を実際に利用される場合の使用感を正確に反映するものではありません。
- 本ツールでは、2 台の PC が接続できない場合の原因や、十分な通信速度が得られない場合の原因を調査することはできません。
- 本ツールのバージョンが異なる場合には正しく診断できません。診断時の 2 台の PC では、ツールのバージョンが同じものであることをご確認ください。

5 動作環境

本ツールは、以下の環境で動作します。

OS:

Windows 7 Home Premium/Professional/Ultimate/Enterprise SP1
32bit/64bit
日本語、英語

利用ソフトウェア:

.NET Framework 4

利用するネットワークポート:

80, 50000, 50001, 50002, 61616

6 使い方

ここでは、本ツールの使い方を説明します。

本ツールは、インタラクティブ ホワイトボードの遠隔共有機能を利用する際のネットワーク環境を診断します。そのため、ネットワークに接続した 2 台の PC それぞれにおいて本ツールを起動し、ネットワーク環境を診断します。

2 台の PC で、それぞれ本ツールを起動した後、一方の PC は診断開始側 (クライアントコンピューター)、もう一方の PC は診断呼出しの待ち受け側 (サーバーコンピューター) となります。

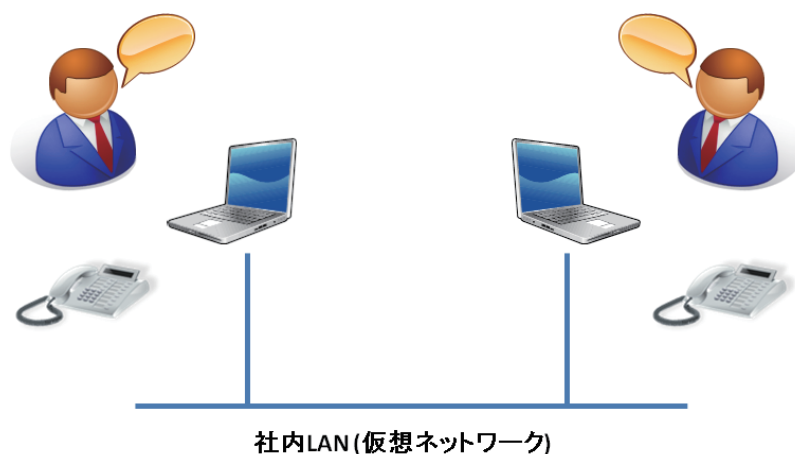


図 1: 本ツールの利用シーン

6.1 使用する前に

本ツールは、ネットワークに接続した 2 台の PC それぞれで起動する必要があります。ネットワークに接続して利用する診断用の PC を 2 台ご用意ください。

また、実際に診断するにあたり、サーバーコンピューターとクライアントコンピューターを決めて、サーバーコンピューターの IP アドレスを連絡する必要があります。別途、電話等の通信手段をご用意ください。

注意

本ツールは、管理者権限で実行します。
起動後に、管理者権限の実行を求めるダイアログが表示されますので、[はい] ボタンを選択、または、管理者パスワードを入力し、実行してください。
お使いの PC の管理者パスワードについては、お客様先のシステム管理者にお問い合わせください。

注意

本ツールは、お使いになる PC のファイアウォールを無効にした上で実行してください。
本ツール使用後は、忘れずにファイアウォールの設定を元に戻してください。
お使いの PC でのファイアウォールの設定方法については、お客様先のシステム管理者にお問い合わせください。

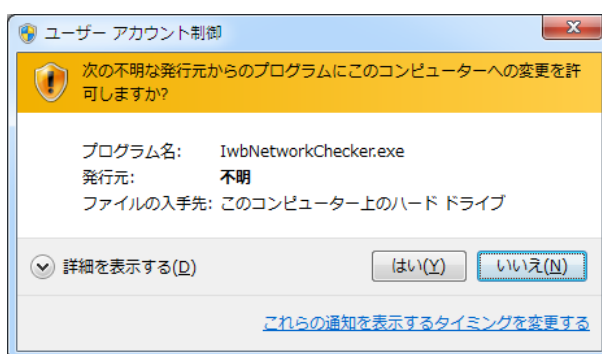
6.2 起動方法

1. 本ツールを起動します。

IwbNetworkCheckTool.exe (以下のアイコン) を起動します。

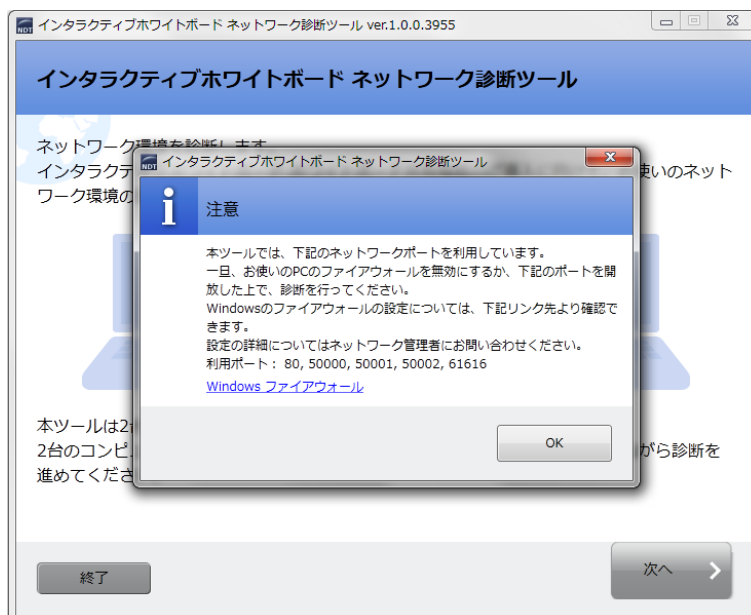


起動すると、管理者権限の実行を求めるダイアログが表示されます。



[はい] ボタンを選択、または、管理者パスワードを入力して¹、起動してください。

起動すると、起動初期画面を表示します。



¹一般ユーザー権限のアカウントでは、管理者ユーザーのパスワード入力が必要となります。

[注意] ダイアログを閉じ、[次へ] ボタンを選択してください。

なお、[注意] ダイアログの [Windows ファイアウォール] を選択すると、Windows ファイアウォールのコントロールパネルが表示されます。ファイアウォールを無効にしてください。(Windows ファイアウォールの設定方法については、「Appendix B」を参照ください。)

2. サーバーコンピューターまたはクライアントコンピューターを選択します。

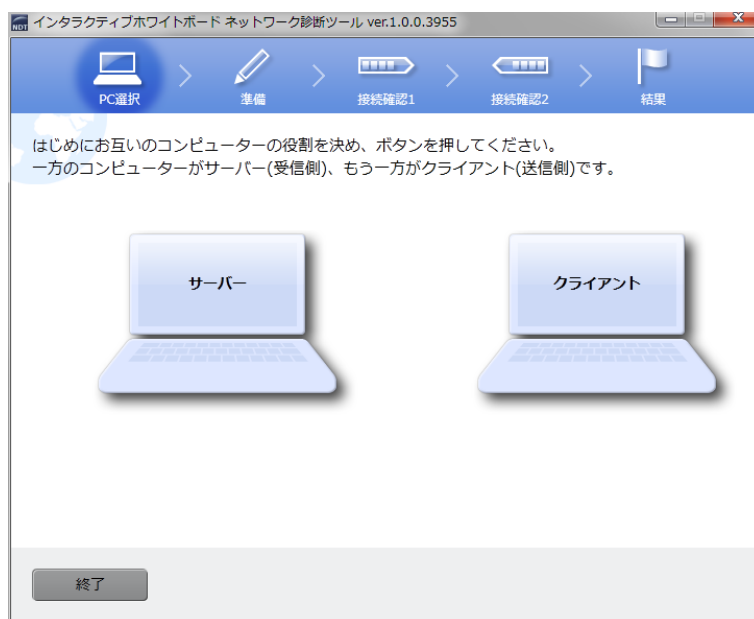


図 2: サーバー/クライアントの選択画面

サーバーコンピューターになる PC の操作者は、左の [サーバー]PC アイコンを選択してください。以降、サーバーコンピューター側の操作は、「[6.3 サーバーコンピューターでの操作方法](#)」を参照してください。

クライアントコンピューターになる PC の操作者は、右の [クライアント]PC アイコンを選択してください。以降、クライアントコンピューター側の操作は、「[6.4 クライアントコンピューターでの操作方法](#)」を参照してください。

なお、クライアントコンピューターでの診断開始前に、サーバーコンピューターを選択し、表示された IP アドレスをクライアントコンピューターの操作者に伝えて、診断を開始してください。

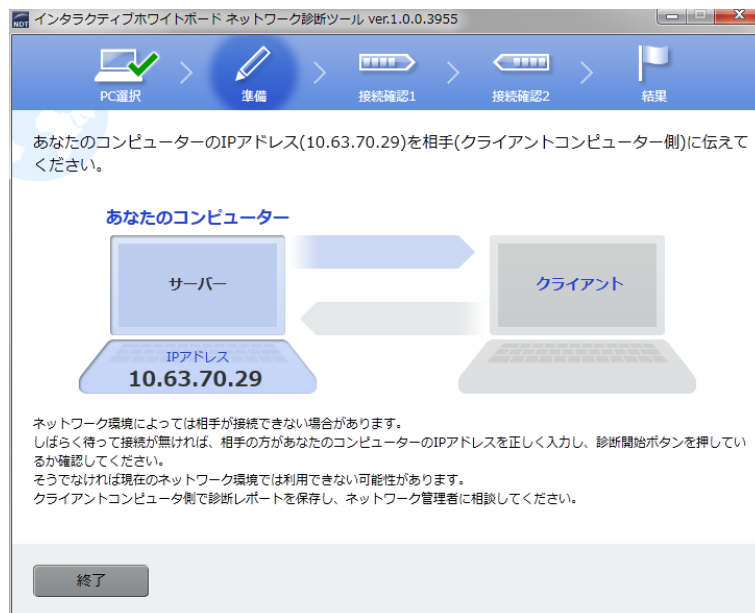
6.3 サーバーコンピューターでの操作方法

ここでは、サーバーコンピューター (あなたのコンピューター) での操作方法を説明します。

なお、クライアントコンピューターでの診断開始前に、IP アドレスが表示されていることを確認してください。

1. サーバーコンピューターの IP アドレスを通知します。

「図 2 サーバー/クライアントの選択画面」にて、[サーバー]PC アイコンを選択すると、サーバーコンピューター (操作中のコンピューター) の IP アドレスが表示されます。

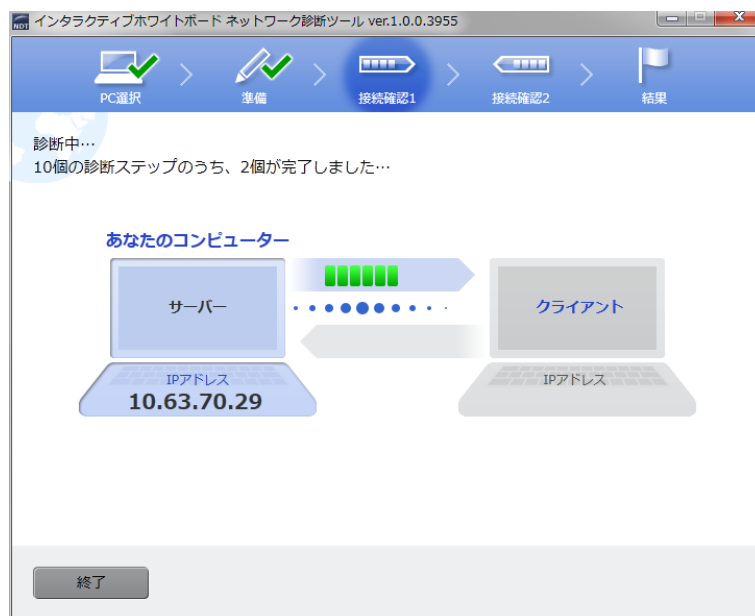


表示されている IP アドレスを、クライアントコンピューター側の操作者に連絡し、診断を開始してもらってください。

2. 診断が開始されます。

クライアントコンピューター側の操作者が診断を開始すると、自動的に診断が開始されます。

まずは、サーバーコンピューターからクライアントコンピューターへの通信確認を行います。

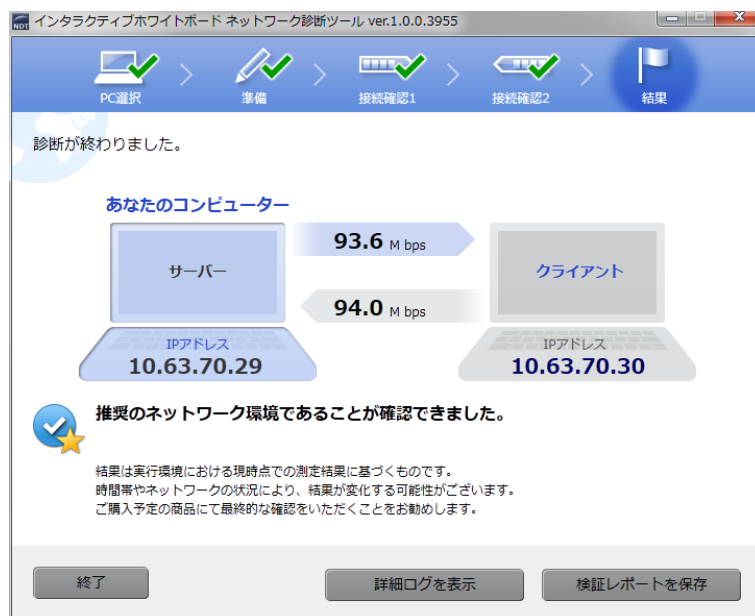


次に、クライアントコンピューターからサーバーコンピューターへの通信確認を行います。



3. 診断を終了します。

診断が終了すると、診断終了の画面が表示されます。



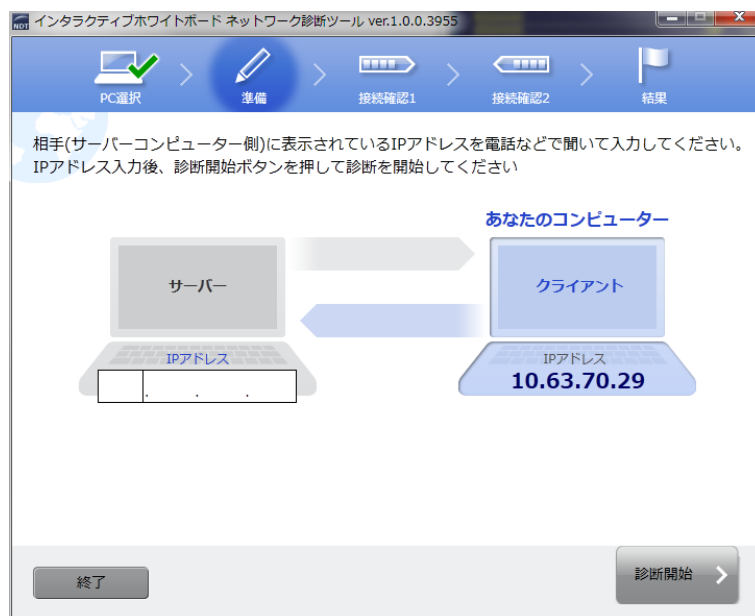
診断結果の確認方法については、「[6.5 結果の確認](#)」を参照してください。

6.4 クライアントコンピューターでの操作方法

ここでは、クライアントコンピューター (あなたのコンピューター) での操作方法を説明します。
なお、クライアントコンピューターでの診断開始前に、サーバーコンピューターで表示されている IP アドレスを確認してください。

1. サーバーコンピューターの IP アドレスを入力します。

「[図 2](#) サーバー/クライアントの選択画面」にて、[クライアント]PC アイコンを選択すると、サーバーコンピューターの IP アドレス入力画面が表示されます。



サーバーコンピュータ側の操作者に連絡し、サーバーコンピュータの IP アドレスを確認の上、入力してください。

2. 診断を開始します。

サーバーコンピュータの IP アドレスを入力して、[診断開始] ボタンを選択すると、診断を開始します。

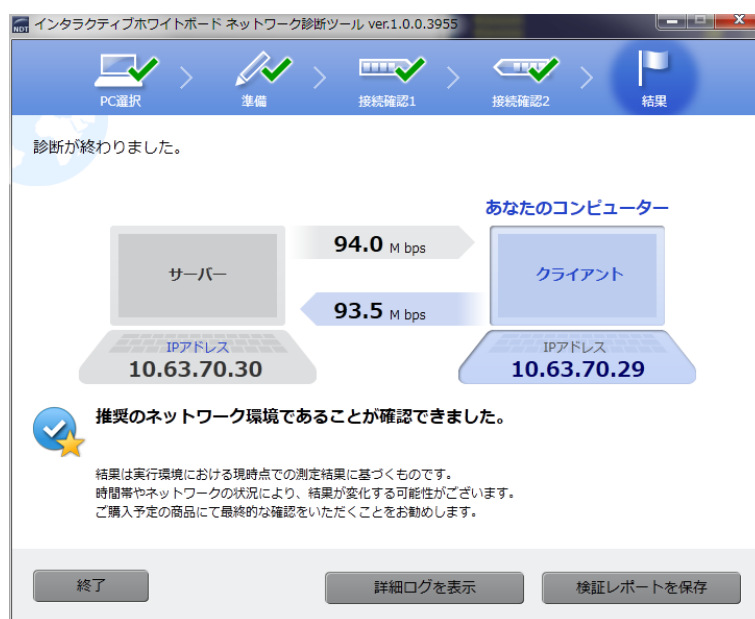
まずは、サーバーコンピュータからクライアントコンピュータへの通信確認を行います。



次に、クライアントコンピューターからサーバーコンピューターへの通信確認を行います。



診断が終了すると、診断終了の画面が表示されます。

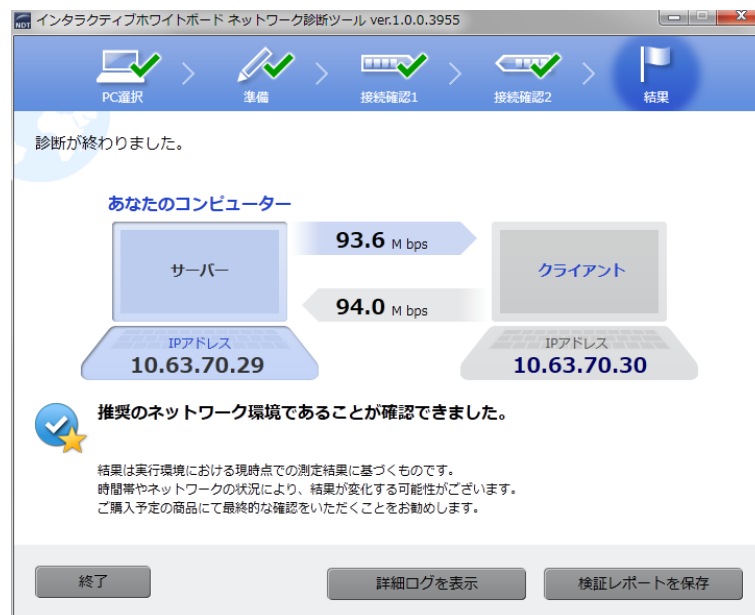


診断結果の確認方法については、「[6.5 結果の確認](#)」を参照してください。

6.5 結果の確認

ここでは、診断結果の確認方法を説明します。

サーバーコンピューター側、クライアントコンピューター側、いずれも診断が終了すると、診断終了画面が表示されます。

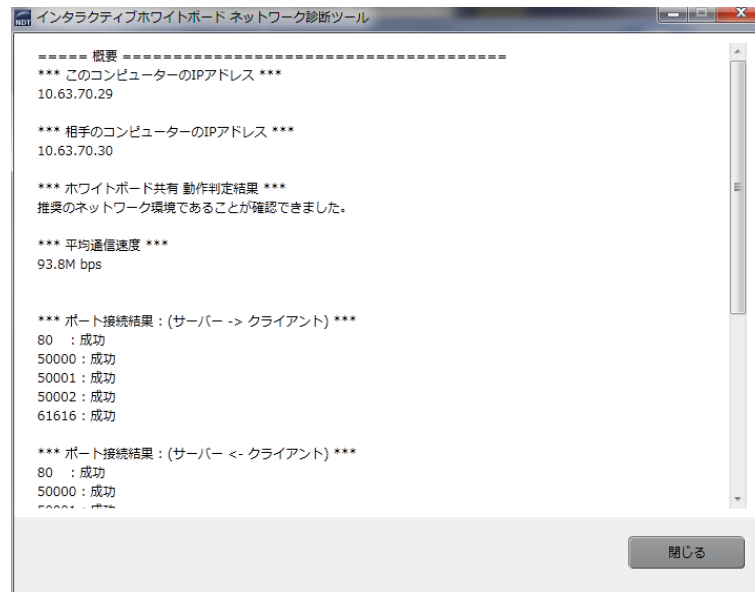


診断結果として表示されるメッセージには、以下のものがあります：

診断結果メッセージ	内容
推奨のネットワーク環境であることが確認できました。	通信帯域が 512 kbps 以上あり、遠隔ホワイトボード共有機能を快適に利用できます。
ご利用いただくことが可能なネットワーク環境であることが確認できました。	通信帯域が 200 ～ 512 kbps であり、遠隔ホワイトボード共有機能を利用できます。
ご利用いただけるネットワーク環境であることが確認できましたが、良好な品質でのご利用ができない可能性があります。	通信帯域が 200 kbps 以下のため、遠隔ホワイトボード共有機能のストローク共有は利用できますが、接続 PC 画面共有の利用は実用的でない可能性があります。
ご利用いただくための要件が満たされていません。診断レポートを保存し、ネットワーク管理者にご相談ください。	利用ポート (80, 50000, 50001, 50002, 61616) のいずれか、または、すべてが閉じているため、遠隔ホワイトボード共有をお使いになれません。お客様のネットワーク管理者にお問い合わせください。

なお、診断結果は、サーバーコンピューターからクライアントコンピューターへの通信の診断結果と、クライアントコンピューターからサーバーコンピューターへの通信の診断結果を比べ、いずれか悪い診断結果にもとづいて表示します。診断結果が悪い場合でも、診断結果の詳細を確認していただくことで、遠隔ホワイトボード共有機能をご利用になることができる場合もあります。詳しくは、サポート窓口にご連絡ください。

診断結果の詳細については、[詳細ログを表示] ボタンを選択して、確認できます。



また、[検証レポートを保存] ボタンを選択して、検証結果をファイルに保存できます。
診断結果につきましては、お客様先のシステム管理者へお問い合わせください。
最後に、[終了] ボタンを押して、終了します。
なお、診断終了後は、診断に利用された PC のファイアウォールの設定を元に戻すことを忘れず
をお願いいたします。

A よくある質問 (FAQ)

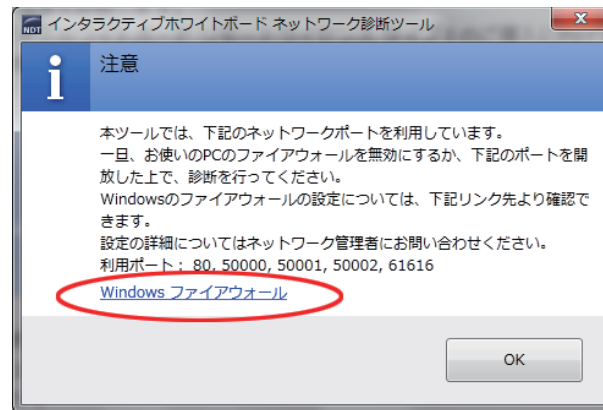
ツールが起動しない。	ツールの起動時は、管理者権限で実行してください。
診断が開始しない。	<ol style="list-style-type: none"> 1. PC のファイアウォールを無効にしてください。 2. 一方の PC はサーバーコンピューターを、もう一方のコンピューターはクライアントコンピューターを指定してください。 3. クライアントコンピューターの診断開始時には、サーバーコンピューターの正しい IP アドレスを入力してください。 4. クライアントコンピューターの診断開始前に、サーバーコンピューターを実行してください。 5. 2 台の PC 間でネットワーク通信ができることを、ping コマンド等で確認してください。 6. 2 台の PC 間のネットワークが、NAT によりインターネットにつながっている場合は、接続できません。仮想プライベートネットワーク (VPN) 内のネットワーク内で診断してください。
「ご利用いただくための要件が満たされていません」と判定された。遠隔ホワイトボード共有機能は使えないのか。	ネットワークのポート 80, 50000, 50001, 50002, 61616 を利用できるよう、お客様のシステム管理者にお問い合わせください。

B Windows ファイアウォールの設定方法

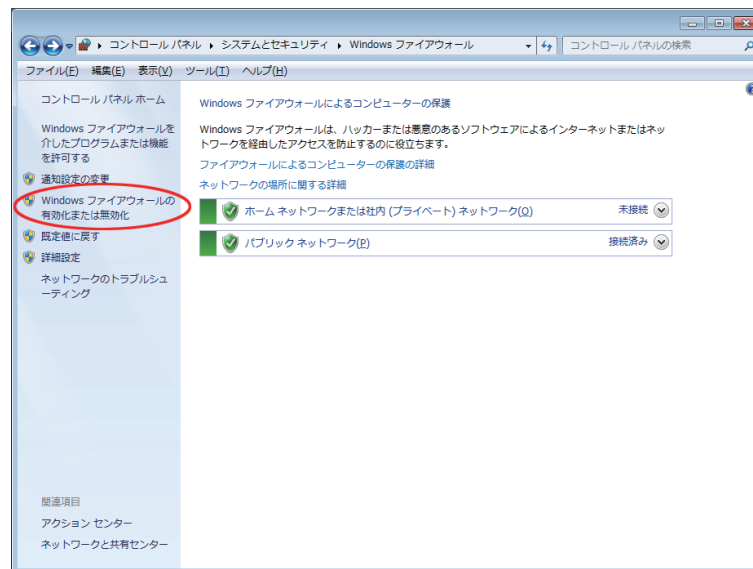
本ツールでは、お使いになる PC のファイアウォールを無効にする必要があります。ここでは、Windows ファイアウォールを無効にする方法を説明します。

お使いのセキュリティソフトにより、ファイアウォールを無効にする方法は異なります。詳しくは、お客様のシステム管理者にお問い合わせください。

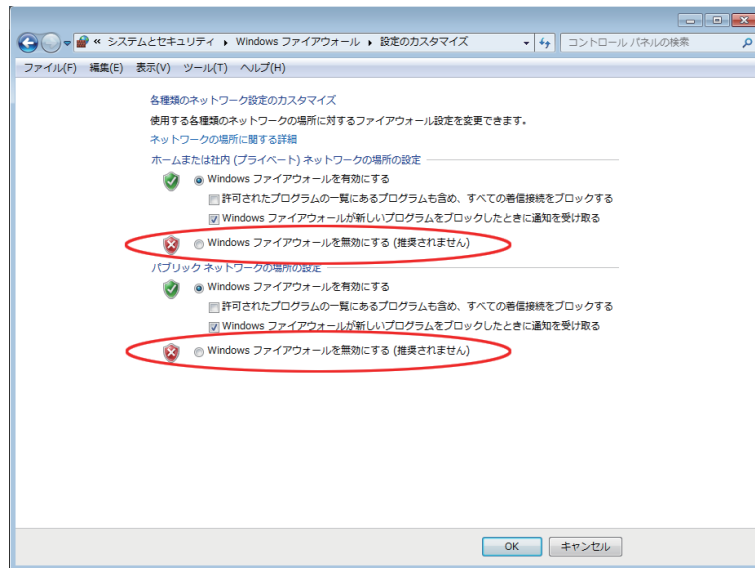
本ツール起動後のダイアログにて、ファイアウォール設定のコントロールパネルを表示する、リンクを表示しています。



リンクを選択すると、Windows ファイアウォールのコントロールパネルが表示されます。



赤枠の「Windows ファイアウォールの有効化または無効化」を選択すると、Windows ファイアウォールを有効・無効にするコントロールパネルが表示されます。



お客様のネットワーク環境に応じて、赤枠の「Windows ファイアウォールを無効にする」を選択してください。

また、Windows ファイアウォール以外でお客様がお使いのセキュリティソフトウェアのファイアウォールも無効化してください。詳しくは、お客様のシステム管理者にお問い合わせください。

なお、本ツールの利用が終わりましたら、忘れずに、ファイアウォールの設定を元に戻してください。

C 商標

Intel、Core は、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation の商標です。

DisplayPort は、米国及びその他の国における VESA の商標です。

Microsoft、Windows、Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標または商標です。

- Windows 7 の製品名は以下のとおりです。

Microsoft® Windows® 7 Home Premium

Microsoft® Windows® 7 Professional

Microsoft® Windows® 7 Ultimate

Microsoft® Windows® 7 Enterprise

その他の製品名、名称は各社の商標または登録商標です。

Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。